

京都大学ジャパンゲートウェイ構想(JGP)

融合工学コース

物質機能・変換科学分野

スーパーグローバルコース

平成 31 年度

募集要項

京都大学学際融合教育研究推進センター
スーパーグローバルコース化学系ユニット

平成 31 年度 履修者募集要項

○応募要件

本コースでは、化学系専攻に係わる各分野において、広い視野で自ら考え、解決策を構築し、またその考えを世界に発信できる能力を有する研究者・技術者を育成し国際社会に送り出すプログラムを実施する。本コースの履修者は、工学研究科先端化学専攻群、創成化学専攻群、または化学工学専攻の修士課程または博士後期課程入学試験を受験し、合格していることを要件とする。

1. 募集人員

コース履修者 6名～10名程度

2. 出願資格

平成 31 年 4 月に、先端化学専攻群、創成化学専攻群、または化学工学専攻の修士課程（修士課程教育プログラム、博士課程前後期連携教育プログラム）に入学・在籍予定者（修士課程 1、2 回生）、あるいは博士後期課程に進学（編入学）・在籍予定者（博士後期課程 1 回生）で、博士（工学）の学位取得を目指す者。

3. 出願手続

京都大学大学院工学研究科 A クラスター事務区教務掛（宛先は、8. 出願書類提出先を参照のこと）へ書留速達郵便もしくは持参にて提出すること。

- (1) 英文履歴書（様式任意、A4 サイズ 1 枚）
- (2) 英文研究実績・計画書（様式任意）
- (3) 指導教員の推薦書（様式任意、一通）
- (4) TOEFL/TOEIC/IELTS の成績（証明書）原本

なお、他大学の入学試験のために、原本を提出している場合は、コピーも可とするが、その旨申し出ること。

注) (4) の書類提出ができない学生、海外帰国子女の応募について

TOEFL/TOEIC/IELTS 等の受検経験がないために (4) の書類を準備できない学生、海外で長らく英語による学業に就き、英語を用いた学習・研究に関し既に高い能力を持つ学生については、上記試験の成績原本提出を当該学生に課さずに、英語力の判定を口頭試問時に行う場合がある。

なお海外帰国子女学生は、(4) の代わりに下記の書類を提出すること。

- 海外の英語を主体に教育を行う機関（主に日本の中学・高校・大学学部相当）の在籍もしくは修了（予定）証明書
- 同機関での成績証明書

上記書類の提出が難しい場合は、その旨、京都大学大学院工学研究科桂キャンパス A クラスター事務区教務掛に連絡すること。

願書受付期間：平成 31 年 2 月 12 日（火）～平成 31 年 2 月 22 日（金）午後 5 時必着

4. コース履修者の選抜方法

書類審査において総合的に判断し所定の基準に達した者に対して、英語での口頭試問（過去の研究経過ならびに今後の研究計画を英語で発表・質疑応答）を実施し、口頭試問の成績・指導教員の推薦書・出願書類に記載の研究実績・計画書の内容を総合して合否を判定する。

口頭試問

平成 31 年 3 月 4 日（月）（時間は別途通知）に試験日を設け、JGP 関連教員が評価を行う。

5. コース合格者の発表

コース履修者の合格発表は、平成 31 年 3 月 15 日（金）に行う（合否について、各出願者へ別途通知する）。選抜された学生は、平成 31 年 4 月から本コースに正式に進む。なお、コース履修者は融合工学コース物質機能・変換科学分野に所属し、所定の学修・研究に取り組む。

6. 学習助成

グローバルに活躍できる人材を育成するために、化学系各分野で世界的トップレベルの海外教育研究機関との連携・協力の強化を行い、化学系各分野での先進的・学際的な研究教育を展開する。そのプログラムのなかで海外提携大学において研究インターンシップを実施する。海外提携大学においてインターンシップを実施する場合には、渡航費および海外提携大学への登録費を補助する。ただし、本プログラム履修は、履修者全員に対して海外提携大学での研究インターンシップ実施を保証するものではない。

7. 個人情報の取扱いについて

取得した個人情報は、プログラム履修者の選抜および履修に伴い必要となる業務のために、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に定めるところにより取り扱う。

8. 出願書類提出先・問い合わせ先

〒615-8510 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科桂キャンパス A クラスタ事務区教務掛

TEL 075-383-2077

E-Mail 090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

受付時間 平日：午前 9 時～午後 5 時